

第35期第22回常任理事会議事録

日 時：2010年6月23日（水）13時30分～15時50分

会 場：日本気象学会事務局（気象庁8階）

出席者：新野，藤谷，石田，岩崎，田中，中島，中本，
藤部，以上8名（常任理事現在数13名）

欠席者：近藤（裕），近藤（豊），佐藤，里村，中村，
以上5名

その他の出席者：鈴木，萩原，田沢（事務局）

議 事

1. 第35期第21回常任理事会議事録の確認
2. 第35期第12回理事会議事録の確認
3. 2010年度総会議事録の確認
4. 会員の加入・退会
新入会員16，退会12を全会一致で承認。2010年6月20日現在，会員数3,925名で通常会員は1,100名。
5. 広報委員会の設置について
広報委員会の役割等について議論し，設置について全会一致で承認した。
6. 各委員会からの報告
庶務…転載許可。

- 1) 英国 School of GeoSciences の Dr. Walter Geibert 氏から，Kimura, N., 2004: Sea ice motion in response to surface wind and ocean current in the Southern Ocean. J. Meteor. Soc. Japan. 82, 1223-1231 の Fig. 1を American Geophysical Union 刊行の Global Biogeochemical Cycles に引用。

・後援名義等使用依頼受付。

名称：第28回レーザーセンシングシンポジウム

- 1) 主催：レーザーダ研究会
- 2) 期日：2010年9月9日（木）～10日（金）
- 3) 場所：琵琶湖グランドホテル（滋賀県大津市）
- 4) 名義：協賛

名称：平成22年度産総研環境・エネルギーシンポジウムシリーズ1「温室効果気体の動態解明とその管理のための技術開発をめざして」

- 1) 主催：産業技術総合研究所環境管理技術研究部門
- 2) 期日：2010年8月31日（火）

- 3) 場所：日本科学未来館みらい CAN ホール（東京都江東区）

- 4) 名義：後援

名称：HPC 最先端シミュレーション技術に関するジョイントシンポジウム

- 1) 主催：東京大学生産技術研究所
- 2) 期日：2010年7月29日（木）～30日（金）
- 3) 場所：東京大学生産技術研究所コンベンションホール（東京都目黒区）

- 4) 名義：協賛

名称：第8回ジャパン・サイエンス&エンジニアリング・チャレンジ(JSEC2010)

- 1) 主催：朝日新聞社
- 2) 期日：2010年9月1日（水）～2011年6月30日（木）

- 3) 場所：募集地域は全国

- 4) 名義：後援

名称：International symposium on the 25 year anniversary of the MU radar

- 1) 主催：京大生存圏研究所
- 2) 期日：2010年9月2日（木）～3日（金）
- 3) 場所：京都大学宇治おうばくプラザ（京都府宇治市）
- 4) 名義：後援

会計…2010年5月分の収支及び現預金検査報告。

天気…Vol.57 No.6（2010年6月号）の掲載記事と，Vol.57 No.7（2010年7月号）予定記事の報告。

気象集誌…はじめて Invited Review Articles が掲載されたことが報告された。

SOLA…投稿論文の処理の進捗について報告。

・速報性を重視したレビューについて議論していることが報告された。

講演企画…2010年度春季大会が連合大会の日程と重なったことに関して影響等について検討したことが報告された。

総合計画…評議員会の議事録をとりまとめたことが報告された。

・地球惑星科学連合学協会長会議について報告。
教育と普及…公開気象講演会が好評だったことが報告された。

各賞…2010年度山本・正野論文賞，堀内賞，奨励賞について，それぞれの推薦委員会より候補者が提示された．今後，全理事の投票により受賞者を決定する．

国際学術交流…2011年の日中韓共催国際会議について，日程が決まったことが報告された．

電子情報…2010年5月の気象学会ホームページのアクセス状況（106,620件）．アクセス数が一昨年と比べて少ない状況が続いている．

・公募情報掲載数11件，うち海外2件．

気象研究コンソーシアム…大会期間中に運営委員会を開催したことが報告された．

7. その他

- 1) 東京湾環境委員会の活動について報告．
- 2) 地球惑星科学連合では「大気海洋・環境科学セクション」の名称変更を検討していることが報告された．「大気」あるいは「気象」といった言葉が含まれている方が良いという意見があった．

平成22年7月22日

社団法人日本気象学会

議長 新野 宏

署名人 中本 能久

署名人 石田 純一